

第1回 新居浜市自殺対策推進協議会 議事録

- ◆ 日時 平成30年8月7日（火）19:00～20:00
- ◆ 場所 新居浜市保健センター 1階 会議室

事務局（近藤）	<p>ただ今から第1回新居浜市自殺対策推進協議会を開催いたします。</p> <p>本日は、お忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>※本日は久石委員さん、矢野委員さんから欠席の連絡がありました。</p> <p>矢野委員さんにつきましては、高須賀指導主幹さんが代理でご出席をいただいております。</p> <p>なお、この会は、「新居浜市審議会等の公開に関する要綱」に基づき傍聴席を設けております。本日の傍聴は、1名いらしております。</p> <p>それでは、お手元の会次第にそって進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>会に先立ちまして、福祉部白石部長がご挨拶申し上げます。</p>
白石部長	あいさつ
事務局（近藤）	<p>ありがとうございました。</p> <p>新居浜市自殺対策推進協議会は、今年度自殺対策計画策定の協議を目的に設置しています。今年度第1回目の会ですので、委員の皆さんの自己紹介をお願いいたします。お手元の資料にあります近藤委員さんから順にお願いいたします。 委員自己紹介 続いて事務局の自己紹介</p> <p>ありがとうございました。</p>
事務局（近藤）	<p>それでは、新居浜市自殺対策推進協議会設置要綱第5条に基づきまして、会長、副会長の選出をお願いいたします。</p>
藤田委員	事務局案はないのですか？
事務局（近藤）	<p>事務局では、会長に武方委員さん、副会長に近藤委員さんをお願いしたいと考えております。</p> <p>（会長、副会長、承認）</p> <p>会長には武方委員さん、副会長には近藤委員さんが選出されました。</p> <p>お席のご移動をお願いします。</p> <p>それでは武方会長から就任のご挨拶をお願いいたします。</p>

武方会長	(就任のごあいさつ)
事務局 (近藤)	武方会長、ありがとうございました。 それでは、ここからは、新居浜市自殺対策推進協議会設置要綱第6条2項に基づきまして、これからの議事進行につきましては、武方会長にお願いします。
武方会長	それでは、議題(1)自殺対策をめぐる国の動向についてと議案(2)自殺の現状について事務局から説明をお願いします。
事務局 (渡辺)	資料1 資料2、3 説明
武方会長	このことについて何かご質問、ご意見はありませんか。
近藤委員	平成27年だけが愛媛県と新居浜市の自殺者が減ったというのは、なにかあるのでしょうか。
事務局 (渡辺)	いろいろな資料等調べてみました。産経新聞のニュースで記事が出てるのでご紹介します。平成27年度に全国的に下がった理由としては、考えられることとして、厚生労働省は「貸金業法改正」などの多重債務者対策や法律相談窓口の充実が効を奏したと見られる」と掲載されていたので、多重債務者、経済困窮等についての法律や相談もあり自殺者が減ったのではないかと考えます。そのほかの原因として、先ほどグラフでもご紹介しましたが学校問題や、家庭問題、男女問題については横ばいということになっております。 また「日本の経済の収支」というグラフを見てもやはり26年から27年は急上昇で右肩上がりになっておりました。
武方会長	29年は下がるんですか。
事務局 (渡辺)	27年までの統計となっていますので、26年からリーマンショック後停滞してたのが上がったのではないかと思います。
武方会長	23年から県で言うと、ずっと減少しているのですが、ここから先を見てもみないといけないと思います。新聞記事にもあるように、これらがプラスの要因になっているのは、間違いないでしょうけど、それだけが原因とこじつけるのはどうかということもあります。景気が良くなっている

	<p>という実感がないと言われる方も多数おられますけれど、多重債務、金融、借金の相談窓口の周知が行き届いたことが、自殺者が3万人を超えていたため、どんどんプレゼンテーションされていき、テレビでも自殺という言葉が耳にするし、シークレットなことじゃなくて「そういう人がたくさんいるから相談に行きましょう」という流れが大きいのではないかと思います。今後の動向を見守っていきましょう。</p> <p>次に、議題（3）自殺対策事業の取組みについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（渡辺）	資料4 説明
武方会長	このことについて何かご質問、ご意見はありませんか。
仙波委員	こころの相談事業があるんですけど、こころの相談を受けた方で自殺された方はいませんか。
事務局（渡辺）	相談が終わりましたら、校区の保健師が引き続きフォローアップするという体制をとっております。定期的に顔を合わせ、その後の体調等について確認しながら、お話を伺い見守るなどのフォローをしていますので、こころの相談に来られた方については、亡くなった方はいないです。
武方会長	ゲートキーパー養成講座の実施予定回数2回となっていますが、対象は今年度どういう方ですか。
事務局（渡辺）	平成23年度から取り組んできており、これまでに市職員や、地域の民生児童委員さん、健康都市づくり推進委員さん、地区社協の方、子育て支援にかかわる方を対象にしてきました。29年度からは市民も加え実施してきました。今年度は市民を対象として実施する予定です。
武方会長	去年は市民を対象とした時、どれくらい集まりましたか。
事務局（渡辺）	今までは地域のリーダー的な方を対象に、医師の講演と保健師の講座の2回コースで実施していましたが、平成29年度からコース学習ではなく、単発実施しております。保健師の講座は演習を行うため20名程度で実施し、医師講演は50名程度参加しています。
武方会長	今年度も同じような感じで実施するのでしょうか。

事務局（渡辺）	はい、今年度も市民の方を対象に実施します。
近藤委員	<p>心療内科をしていますので、うつ病の方を様々診ますので、その点から今の自殺対策事業で足りないかなと思うところが2つあります。</p> <p>まず1つは企業の方、特に管理職以上の方への啓発をもう少し考えていただける事業がないものか。やはり上司の方の対応で、病気の方の治り具合や職場への復帰がかなり変わりますので、その点をもう少し何か働きかけができないかなと思います。</p> <p>もう1点は、新居浜市における精神科医療にも少し問題があると思っ ていますが、アルコールと薬物に関しての対策というのが非常に弱いというところが元々あります。詳しい方はご存知だと思いますが、アルコール依存を断てばかなり自殺が減ることが先進国の実例でわかっていることですので、その方々への対応を実施する事業がなにかできないものか。ただ、医療につながるとしても、西条管内では、医療的には厳しい面があり、他のところへご紹介させていただくということにはなりそうです。アルコール及び薬物依存から自殺で亡くなる方も多はずですし、お酒を飲んで衝動的に鬱の方が亡くなったり、負債があっ てお酒を飲んで衝動的に亡くなることが多いとされているので、もう少し何かできないかと思っています。</p> <p>少し思っているのが、警察の方で飲酒運転のことである程度情報をお持ちでないかと思 います。お酒を飲んで運転してる方、ほぼアルコール依存症であると思 います。それは事実です。医療者はみんな知っています。情報をお持ちであれば、個人情報の兼ね合いもあるかと思いますが、上手な形でフィードバックできれば、もう少し対策ができるのかなあと思 います。可能であればお願いします。</p>
事務局（木戸）	<p>貴重なご意見ありがとうございます。企業の方への啓発ですけど大きな企業ですと、健康管理の担当の方がいらっしゃいますので、そういったところでの取り組みがあると思 います。そういう取り組みがないところもござ いますので、新居浜市としましては、出前講座という形で、こころの健康づくりという対応をしていますので、今日は商工会議所の方も来られてますが出前講座を利用していただければ、研修を受けた保健師が「こころの健康づくり」や「自殺対策」のお話などをさせていただくことができます。また今後計画の中にはこのようなことに力を入れていかなければならないことなどもまた盛り込んでいかなければならないなと思 っております。アルコールと薬物につきましては、専門的な内容になりますので、保健セ</p>

	<p>ンターの担当職員も研修などに参加しますが、対応というのはすごく難しいので、どちらかという県の方をお願いしているようなところがござい ますので、その辺もまた今後検討していきたいと考えております。</p>
武方会長	<p>言われているようなことになるかと思いますが、また先生、保健のほうも何かあればお願いします。</p> <p>警察の方で坂本委員さん、言いにくいと思いますが、感想みたいなものでもお願いします。</p>
坂本委員	<p>アルコール関係は、日常増えていると思っています。依存症が疑われる場合は検査の方もお願いしてるんですけど「本人自身が」といつも言われるんですけど、そこが一番難しいとこなのかなと我々も感じています。</p>
武方会長	<p>先生がおっしゃられますように、依存症の治療の専門的な病院がこの辺りには、なかなかないというのが一番にあります。通報いただければ継続的な関りということになるんですけど、断酒会などおすすりめしたりはしているとは思いますが、なかなか難しい気がします。</p> <p>議題（４）の新居浜市自殺対策計画について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（渡辺）	<p>資料５ 説明</p>
武方会長	<p>このことについて何かご質問、ご意見はありませんか。</p> <p>去年の１１月に市町村自殺対策計画策定の手引きが出されており、その手引き内に提示してある骨子に基づいて、新居浜市も作られており、おそらく全国多くの市町村がこのような形の骨子で策定していると考えられます。</p>
事務局（渡辺）	<p>国のガイドラインに沿って計画策定していきます。</p>
武方会長	<p>策定のスケジュールと骨子について何かご質問ありますか。</p> <p>協議会は年２回あって、後１回あるということですね、素案ができるのがいつごろになりますか。</p>
事務局（渡辺）	<p>１１月ごろになります。</p>
武方会長	<p>素案ができたら、会の前に委員さんに配られるのですね。</p>

事務局（渡辺）	事前にお配りいたします。
武方会長	協議会で素案協議ということで、ほぼそこで固まるということですね。かなりタイトなスケジュールでございます。これを庁内で全部の事業をそれぞれ洗い出の作業、すごく大変だと思いますが、自殺に至るには、原因があって、その重なりで最終的に自殺になっているということで、全ての庁内にまたがっているのですが、縦割りの事業に横ぐしをさすような感じのイメージで、自殺対策を全庁的に進めていくと思っていただければよいですよ。
事務局（渡辺）	はい。
武方会長	その他、委員の皆さんから何か、こんな取り組みをしているとか、ご意見やPRがありましたらお願いします。 このメンバーですが実は保健所でやっております新居浜西条地域自殺対策検討連絡会のメンバーとかなり重なりがあるんです。そちらに入っていない団体所属というと、市の教育委員会があります。教育委員会の代理でご出席いただいている高須賀さん、市の教育委員会の中で子どもの心のケアというのは何かありますか。
高須賀代理	積極的に自殺ということではないと思うのですが、各学校にハートなんでも相談員さんを置いたり、全部の学校ではありませんが、スクールカウンセラーですとか、子どもたちが教師以外に相談しやすいような取り組みを学校教育の中で行っております。 新居浜市ではスクールソーシャルワーカーの方にも入っていただき、学級の先生だけで抱え込むことなく、経済的に課題のある子どもも一緒に考えていくような形での取り組みはしているところです。
武方会長	若い世代を迷わせないということで、心の教育、心の傷を作らないということですね。 働く世代で新しい取り組みとかありますか。
小野委員	全体的な流れですけど、働き方改革の関係で、労働時間の上限規制等ある程度入ってきた関係で、労働時間をある程度制限するようになっており、これからではありますけど、それによって睡眠時間の確保するというか、働き過ぎないといったことで、勧奨なども含めて健康管理など守っていかないとと思います。

<p>武方会長</p>	<p>後ちなみに50人未満の事業所にも相談体制は作っているんですけど、なかなか利用が少ないのが現状です。</p> <p>積極的に利用していただければいいんですけどね。</p>
<p>白川委員</p>	<p>生活困窮者の支援をしているのですが、当然支援者の方は途切れることなく1年以上ずっとこれから関わっていくことになると思うんですけど、本当に悪い方、本当に自殺しそうな方っていうのは、家から出ない、病院にも行かないですよね。ですから、そういう方を助けるためのゲートキーパーの養成講座をしても、今の現状では把握できないし、本人から相談に行かない限り民生委員さんも入れないので、関係機関がどれだけそういう方に関わっていくかということが非常に大事だと思います。私に関わる人のほとんどが精神疾患だと思います。通院に同行している人は、たくさんいらっしゃいます。生活保護を受ける方もいますが、本年度から定期的な訪問が3か月から6か月に延びたことで、その間余計に日常何をしているのかわからないので、そういうところをいかに、関係機関で包括的に関わっていくかってことをしないと改善していかないと思います。</p>
<p>近藤委員</p>	<p>もし65歳以上であれば、包括に連絡していただくと急に訪問する体制ができております。</p>
<p>白川委員</p>	<p>それはやっております。近藤先生のところにもアルコール依存の方で同行したことがあるのですが、結局その方も一人では、病院に行かないんですよ、結局一緒に行って薬をもらっても、アルコールの分の薬だけは飲んでなかったです。</p> <p>本人の意思なんですけど、意思がなかなか変えられないといえますか、やっぱり高齢者でしたら包括、精神疾患だったら病院のワーカーや障がい関係と連携支援しないと難しいと思います。</p>
<p>武方会長</p>	<p>その辺については、ケース検討会をして、関係機関で訪問頻度や期間があかない工夫をしたりサポートをしていく。本当に危ないというような人に関しては、命の危険がありますから、個人情報保護などありますけれども、情報の共有をしてアンテナを広げるといことと、多くの機関で関わるということを考えてもらえたらと思います。</p> <p>他にご意見がないようですので、これで協議を終了いたします。</p> <p>ここで、事務局にお返しします。</p>
<p>事務局（渡辺）</p>	<p>第2回目の協議会は12月ごろに開催する予定です。新居浜市自殺対策計</p>

画の素案について、ご協議をいただきたいと思いますので、よろしく
願います。

以上をもちまして、新居浜市自殺対策推進協議会を閉会します。

本日はありがとうございました。

